

早期肺癌に対する CT 画像に基づいたサルコペニア評価と
免疫・栄養・炎症マーカーの相関および外科治療成績の検討
に関する臨床データの研究利用についてのお願い

研究の概要・背景

(研究の概要) 早期原発性非小細胞肺癌 (ステージ: I もしくは II 期) に対し、区域切除以上の解剖学的肺切除を施行された患者様を後方視的に集積し、CT 画像より得られた筋肉量を基にサルコペニアの評価を行い、またサルコペニアに関連のある血液検査項目 (免疫・栄養・炎症マーカー) が手術成績に与える影響 (術後合併症・長期予後) を検討し明らかにします。

(背景) 早期非小細胞肺癌 (ステージ: I もしくは II 期) の最良の治療法は外科的切除であります。一部の患者様の予後は不良であります。それにつきましては、ステージなどの腫瘍関連要因だけでなく、加齢、全身状態、併存症などの患者様自身の身体的状態によっても左右されます。サルコペニアは、加齢に伴う変化、栄養不足、慢性炎症、がん悪液質などのさまざまなメカニズムによって引き起こされる、筋肉量と筋力の進行性および全身性の喪失を特徴としており、身体障害、生活の質の低下、高い死亡率などの結果に影響を与えられています。最近の研究においては、サルコペニアは、肺癌を含む悪性腫瘍患者の早期術後合併症や長期生存率の低下などと関連があることが報告されております。サルコペニア患者様を特定するために、CT 画像に基づいた骨格筋量の測定は有効な評価方法とされております。

以上より、早期非小細胞肺癌患者様の CT 画像に基づいた術前の骨格筋量の測定と外科治療成績、および栄養状態との関連を調査することは意義深い研究と考えております。

試料・情報の利用目的・方法 (他機関への提供を含む)

本研究は、区域切除以上の解剖学的肺切除を施行された早期非小細胞肺癌 (病理病期 I-II 期: TNM 分類第 7 版) 患者様に対し、電子カルテ内の病歴、血液検査結果、画像診断情報、病理診断情報、治療後の転帰・予後などを利用致します。そのうち特に画像的サルコペニア (筋肉

量の低下)の存在と免疫・栄養・炎症マーカーが、術後合併症および長期成績に与える影響を分析することを目的としています。免疫・栄養・炎症マーカーの評価方法は既採取の血液結果(好中球・リンパ球・血小板・アルブミン)を用い、サルコペニアの評価はCT解析ソフトを用い評価致します。

本研究は、当院のみで行う研究であるため、他機関への情報提供はございませんし、得られたデータの取扱いに関し、研究責任者は個人情報の保護に細心の注意を払い、情報の漏洩、紛失、転記、不正な転写などがないように管理致します。

対象者・期間

(対象者) 2014年1月1日から2021年12月31日までに当院において、早期非小細胞肺癌と診断され、区域切除以上の解剖学的肺切除を施行された患者様を解析対象と致します。

(期間) 当院倫理委員会承認日から2025年(令和7年)12月31日

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師:呼吸器外科 佐藤征二郎

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話:0258-28-3600(代)、FAX:0258-28-9000(代)